



Liberta!

2022年12月期 第1四半期

決算説明資料

株式会社リベルタ

証券コード 4935

2022年5月13日

1 会社概要

2 2022年12月期第1四半期 トピックス

3 2022年12月期第1四半期 業績ハイライト

4 2022年12月期 業績予想の上方修正

5 株主還元

会社概要

1

会社概要

経営理念



喜びを企画して 世の中を面白くする



時代が目まぐるしく変化する近年。

それでも人々にとって「喜び」は万国共通の永遠なるニーズ。

こんな商品が欲しかった！と、商品と出会う喜び、使用する喜び、
それをまた誰かと共有する喜び、様々な企業とともに生み出す喜び。



世界中に商品を流通させるマーケティングのプロフェッショナル企業として
商品を買う満足を超えた喜びの刺激を世界中に届けていきます。



既成概念や常識にとらわれず、学歴、職歴、国籍、年齢問わず積極的に雇用し、
個を認め合いながら、自由な発想と創造により無限の可能性をもった企業へと成長するよう
社名は自由を意味する「Liberta」と名付けました。



事業ジャンル



主要ブランド



【ベビーフット】



【DENTISTE】



【クイックビューティ】



【カビトルネード】



【カビダッシュ】



【アスマール】



【Luminox】



【HeatMaster】



【FREEZE TECH】

国内外の主な販路

■国内店舗数 (店舗卸)

22,550 (店舗)

■通販卸 (TV・カタログ・ネット)

■直営3店舗・EC会員約12.4万人



バラエティ
ショップ



通販会社



GMS



スポーツ店



百貨店



スーパー



バイク用品店



雑貨店



ホームセンター

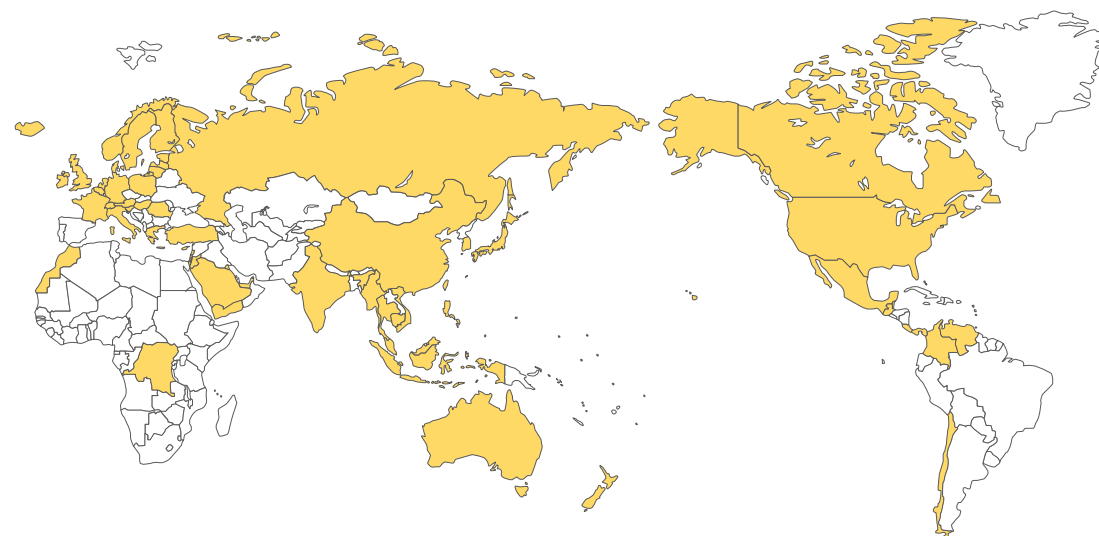


ドラッグストア

■海外店舗数

25,100 (店舗)

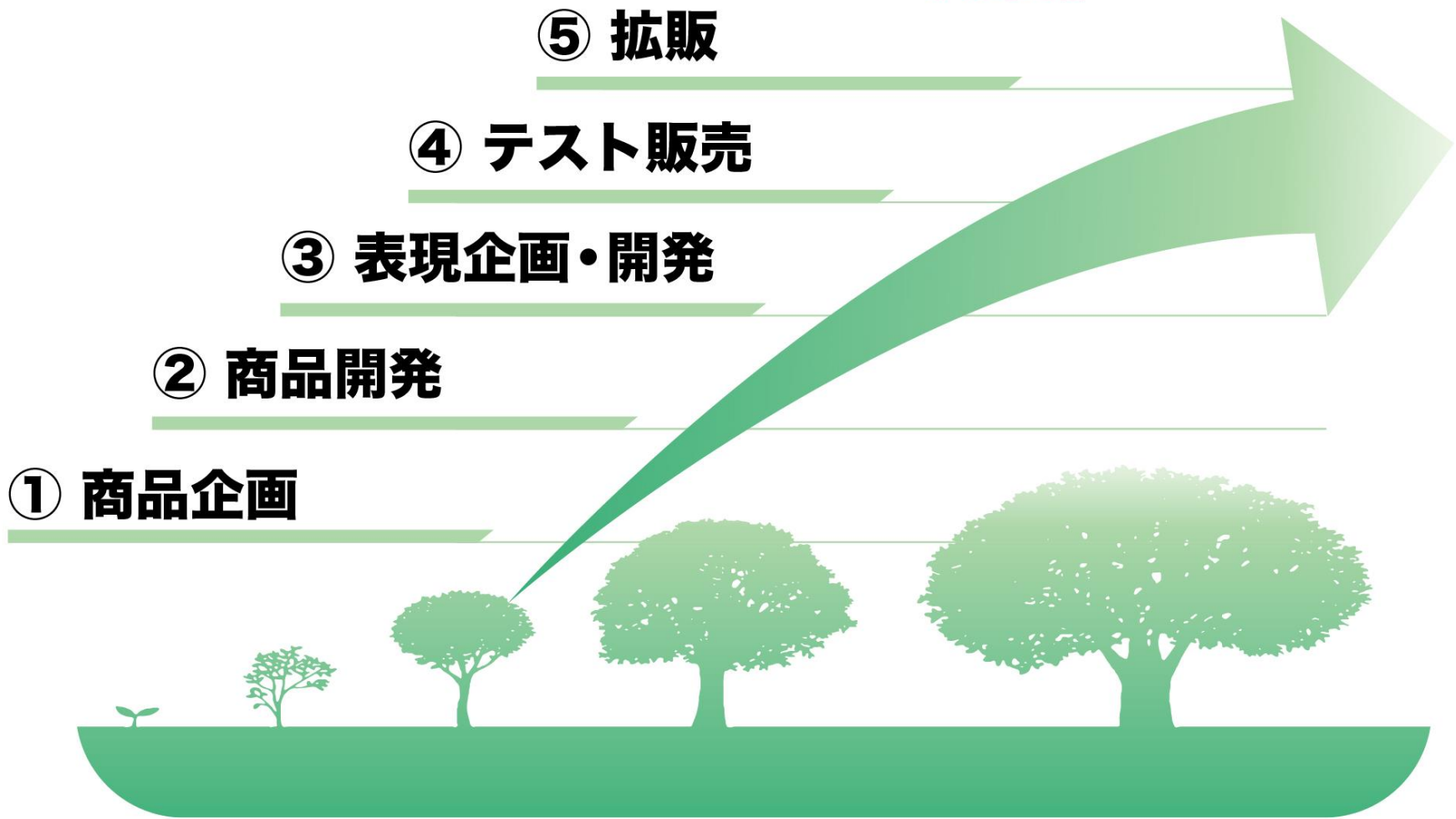
- 60カ国以上の国・地域と直接貿易
(アジア・オセアニア・欧州・中東
・北米・中米・南米)



※会員数・店舗数は2022年3月31日時点

ビジネスモデル (マーケティングの内製プロセス)

⑥ 同一カテゴリーで
No.1 ブランドになる



第1四半期 トピックス

2

2022年12月期第1四半期トピックス

トピックス

ファミリー・サービス・エイコー(株)を子会社化

✓4月1日付で、ファミリー・サービス・エイコー(株)の株式の86.8%を取得し子会社化しました。

✓会社概要

商号	ファミリー・サービス・エイコー株式会社	
所在地	長野県長野市居町 43-1	
事業内容	医療機器製造・販売 浄水器の製造・販売 歯ブラシ及び除菌装置等の製造・販売等	
資本金	498百万円	
設立年月日	1976年7月5日	
資本構成	株式会社リベルタ	86.8%
	エイコー従業員持株会	13.2%

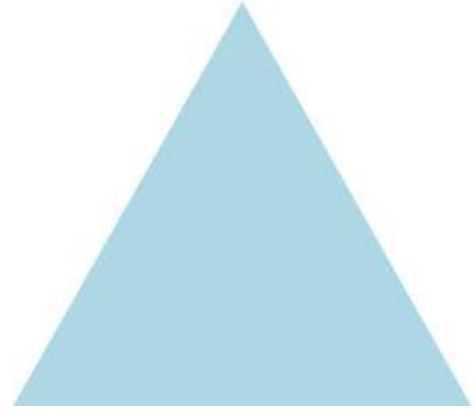
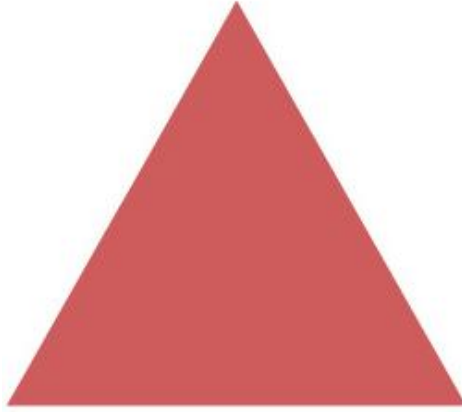
✓経営成績及び財政状態
(2021年3月期)

単位：百万円

純資産	1,608
総資産	2,700
1株当たり純資産	12,460.85 (円)
売上高	2,655
営業利益	213
経常利益	225
当期純利益	139
1株当たり当期純利益	1,079.65 (円)

トピックス

エイコー社の子会社化によるシナジー効果



- バラエティショップ
- 通販会社
- GMS
- スポーツ店
- 百貨店
- スーパー
- バイク用品店
- 雑貨店
- ホームセンター
- ドラッグストア

ボディーヘルスケア事業
Body Health Care

ウォーターヒューマンケア事業
Water Human Care

オーラルヘルスケア事業
Oral Health Care

生活雑貨
Homeware and Designing

生協事業
COOP DEPT.



2022年12月期通期業績予想を上方修正

前頁のとおり、2022年4月1日付にてファミリー・サービス・エイコー(株)は当社の連結子会社となりました。このため第2四半期から当社連結業績に取り込まれることに伴い、

2022年12月期業績予想を上方修正いたします。

また、中期経営計画も同社とのシナジー効果等を前提に見直しを行っておりますので完了後速やかに開示させていただきます。

※2022年12月期連結業績修正予想の詳細はP22～をご覧ください。

第1四半期 業績ハイライト

3

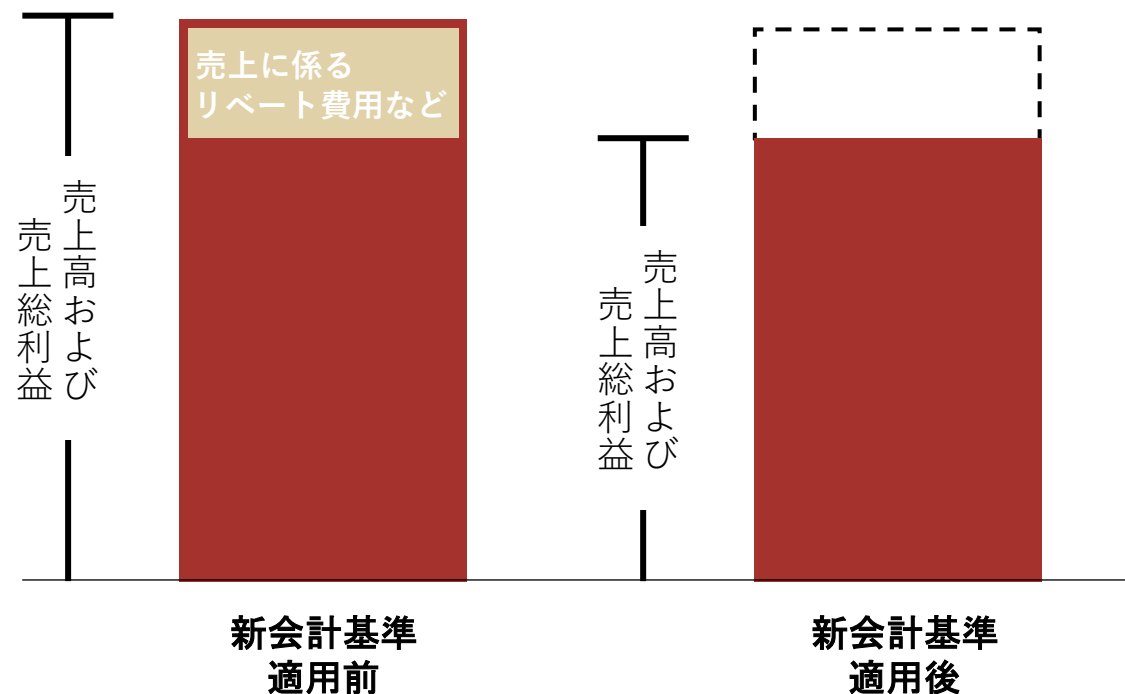
2022年12月期第1四半期 業績ハイライト

前年度からの変更点

✓ 2022年12月期の期首より「**収益認識に関する会計基準（企業会計基準第29号）**」を適用しており、連結業績予想および中期計画は、本基準に従い記載しています。

✓ 主な変更点

- ・ 商品売上高の計上方法
- ・ 販売費及び一般管理費に計上していた販売促進費のうち、リベート費用などを売上高および売上総利益から控除



連結損益計算書

(2022年12月期第1四半期)

単位：百万円

	従来基準（参考数値）				新基準（開示数値）
	2021/12 Q1	2022/12 Q1	増減額 （従来基準比）	増減率 （従来基準比）	2022/12 Q1
売上高	1,058	1,071	+12	+1.2%	1,027
売上総利益	462	359	△ 102	△22.2%	340
販売費および 一般管理費	420	442	+22	+5.4%	423
営業利益	42	△ 82	△ 125	△297.0%	△ 82
経常利益	51	△ 99	△ 150	△294.2%	△ 99
親会社株主に帰属する 当期純利益	34	△ 68	△ 102	△300.1%	△ 68

商品ジャンル別連結売上

(2022年12月期第1四半期 前年同期比)

単位：百万円

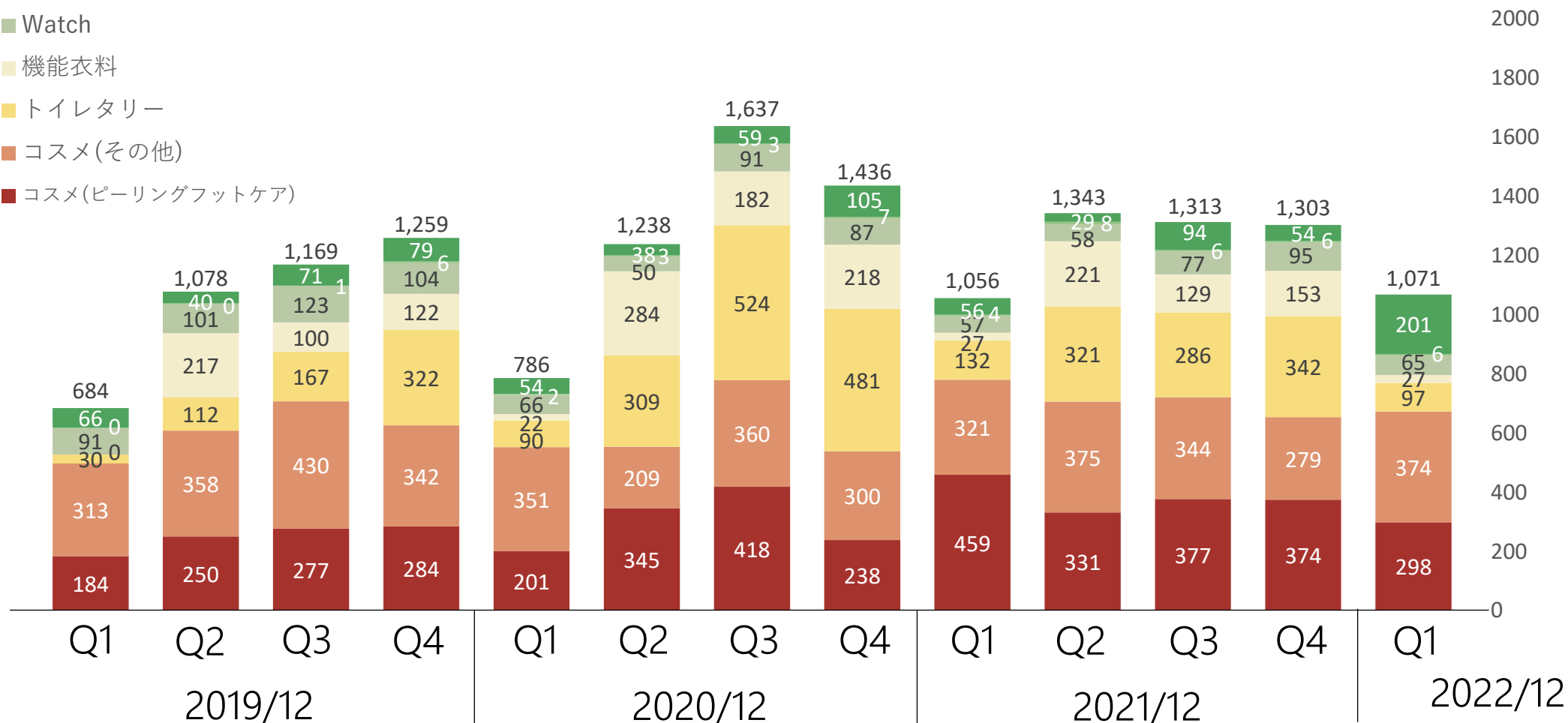
	従来基準（参考数値）						新基準（開示数値）
	2021/12 Q1	構成比	2022/12 Q1	構成比	増減額 （従来基準比）	増減率 （従来基準比）	2022/12 Q1
コスメ（ピーリングフットケア）	459	43.4%	298	29.1%	△ 160	△ 35.0%	298
コスメ（その他）	321	30.3%	374	36.4%	+53	+16.6%	374
トイレタリー	132	12.5%	97	9.5%	△ 34	△ 26.0%	97
機能衣料	36	3.4%	27	2.7%	△ 8	△ 23.5%	27
Watch	57	5.4%	65	6.4%	+8	+14.3%	65
加工食品	4	0.4%	6	0.6%	+2	+50.6%	6
その他	48	4.6%	201	19.6%	+153	+317.4%	201
新会計基準影響額	—	—	—	—	—	—	△ 43
合計	1,058	100.0%	1,071	100.0%	+12	1.2%	1,027

商品ジャンル別連結売上

(四半期推移)

(単位：百万円)

- その他
- 加工食品
- Watch
- 機能衣料
- トイレタリー
- コスメ(その他)
- コスメ(ピーリングフットケア)

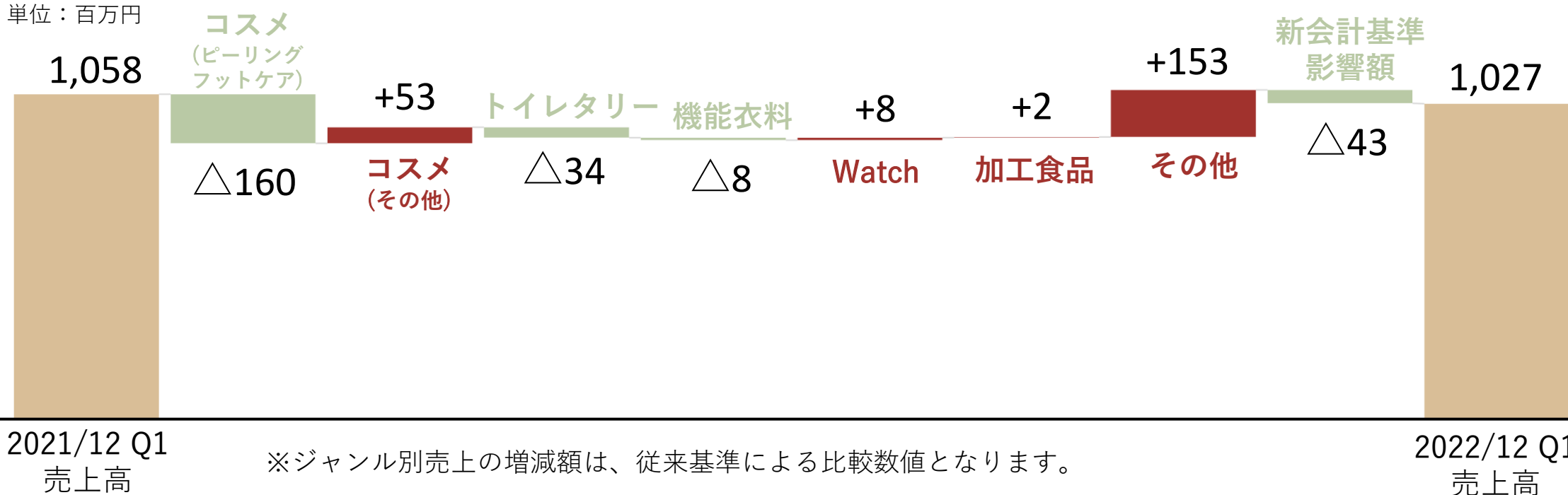


※2022/12 Q1を含め、**全て従来基準の数値**を記載しております。

商品ジャンル別連結売上

(2022年12月期第1四半期 前年同期比連結売上増減)

単位：百万円



売上増の主な要因

- ✓ **コスメ(その他)**
リニューアル発売のクイックビューティが好調。
デンティスがコストコなどで販売好調。
クーリストはバラエティショップへ、つぶぽろんは
大手ドラッグストアへの導入が好調。
- ✓ **Watch**
大手スポーツ量販店等への導入により売上伸長。
- ✓ **その他**
仕入商品の拡充により売上伸長。

売上減の主な要因

- ✓ **コスメ(ピーリングフットケア)**
米国にて、Amazonや店頭での販売は前年を上回る水準で
好調に推移するも、米国総代理店における在庫調整や、国内
においても前年2月に有名ユーチューバーの動画にて取り上
げられたことによる売上増の反動減でにより売上減。
- ✓ **トイレタリー**
前年度下半期にリニューアルしたカビダッシュの旧品の
返品やカビトルネードの販売鈍化により売上減。

地域別連結売上

(2022年12月期第1四半期 前年同期比)

単位：百万円

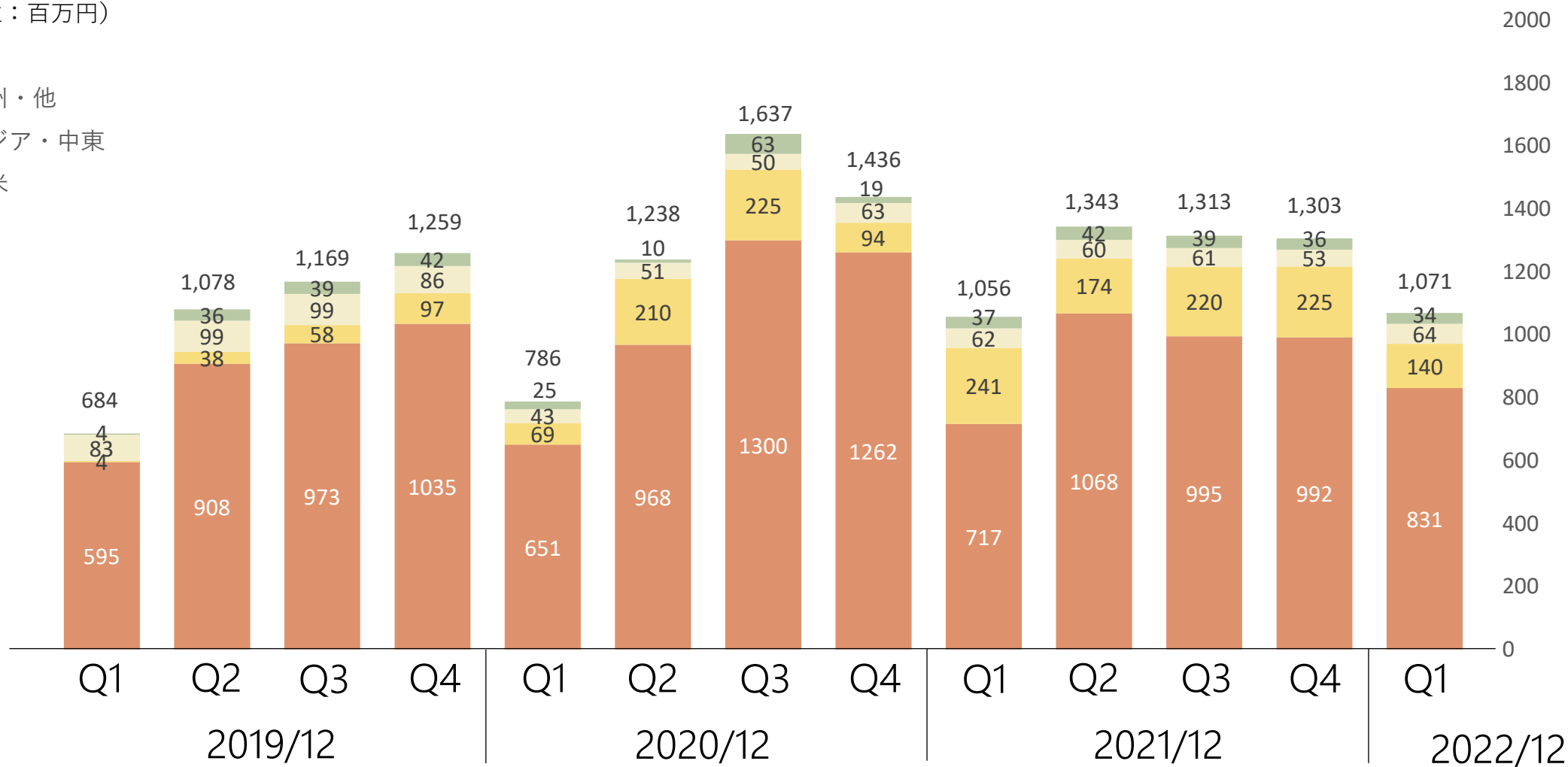
	従来基準（参考数値）						新基準（開示数値）
	2021/12 Q1	構成比	2022/12 Q1	構成比	増減額 （従来基準比）	増減率 （従来基準比）	2022/12 Q1
国内	717	67.7%	831	77.6%	+114	+16.0%	790
海外	341	32.3%	239	22.4%	△101	△29.7%	237
内、北米	241	22.8%	140	13.1%	△101	△41.9%	140
内、アジア・中東	62	5.9%	64	6.0%	+1	+3.0%	64
内、欧州・他	37	3.5%	34	3.3%	△2	△6.0%	32
新会計基準影響額	—	—	—	—	—	—	△43
合計	1,058	100.0%	1,071	100.0%	+12	1.2%	1,027

地域別連結売上

(四半期推移)

(単位：百万円)

- 欧州・他
- アジア・中東
- 北米
- 国内

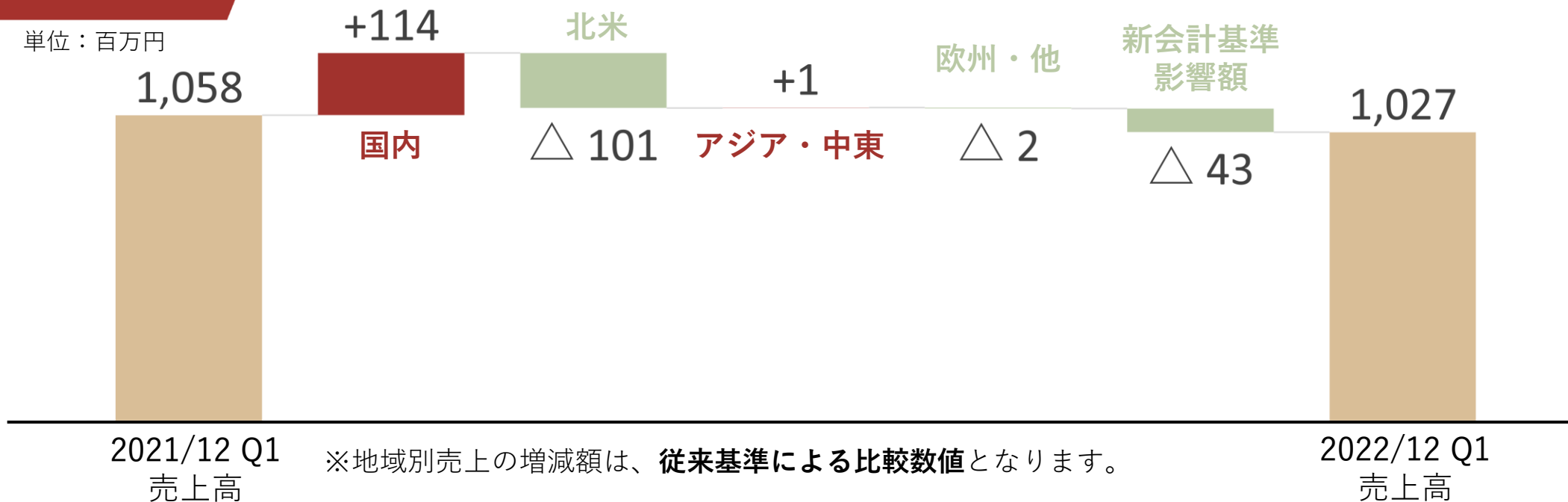


※2022/12 Q1を含め、**全て従来基準の数値**を記載しております。

地域別連結売上

(2022年12月期第1四半期 前年同期比連結売上増減)

単位：百万円



売上増の主な要因

✓国内

コスメ（その他）ジャンルのクイックビューティーのリニューアル後の販売が好調だったことによるもの。また、クーリストはバラエティショップへの導入が好調、つぶぼろんは大手ドラッグストアへの導入が好調なため。また、その他ジャンルの仕入れ商品が好調に推移。

売上減の主な要因

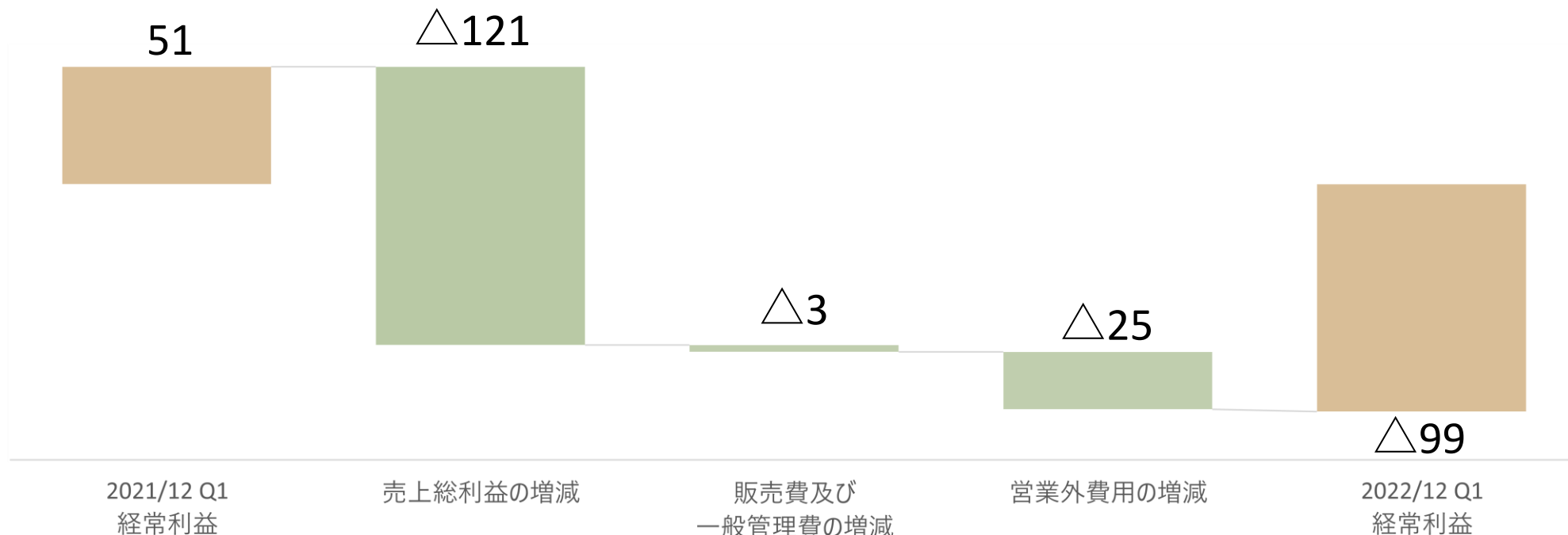
✓北米

米国にて、コスメ（ピーリングフットケア）がAmazonや店頭での販売は前年を上回る水準で好調に推移するも、米国総代理店における在庫調整により売上減。

連結経常利益増減

(2022年12月期第1四半期)

単位：百万円



- ✓ 減収による売上総利益の減少（30百万円）及び商品評価損※（50百万円）の計上や収益認識基準の変更（43百万円）等により売上総利益が減少 △121百万円減少

※商品評価損は計画に折込済。

- ✓ M & Aに伴う資金調達関連費用の発生による営業外費用の増加 △ 25百万円減少

連結貸借対照表

(2022年12月期第1四半期)

単位：百万円

	2021/12 Q1	2022/12 Q1	増減		2021/12 Q1	2022/12 Q1	増減
現預金	959	2,696	+1,737	買掛金	263	486	+222
売上債権	635	460	△ 175	有利子負債	1,189	2,822	+1,633
たな卸資産	1,273	1,217	△ 55	その他負債	555	369	△ 185
その他流動資産	107	200	+92	負債合計	2,008	3,679	+1,671
固定資産	200	298	+97	資本金	183	192	+8
				剰余金他	984	1,001	+17
				純資産合計	1,168	1,193	+25
資産合計	3,176	4,873	+1,696	負債純資産合計	3,176	4,873	+1,696

- ✓ M & Aに伴う資金調達により**現預金が1,737百万円増加**
- ✓ 回収が進み**売上債権が175百万円減少**
- ✓ 商品評価引当金の積み増しなどにより**たな卸資産が55百万円減少**
- ✓ M & Aに伴う借入により**有利子負債が1,633百万円増加**

2022年12月期 業績予想の 上方修正

4

2022年12月期 業績予想の上方修正

連結損益計算書

(2022年12月期通期 業績予想の上方修正)

単位：百万円

	2022/12 通期 当初計画	2022/12 通期 修正計画	増減額	増減率
売上高	5,800	7,800	+2,000	+34.5%
売上総利益	2,355	3,530	+1,175	+49.9%
販売費および 一般管理費	2,140	3,203	+1,063	+49.7%
営業利益	215	326	+111	+51.6%
E B I T D A	225	423	+197	+87.6%
経常利益	200	300	+100	+50.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	135	161	+25	+19.0%

✓ エイコー社の子会社化によって4月～12月（9か月間）の業績が加わったことで、売上高2,000百万円、経常利益100百万円増加。
なお、今期は当該M & Aに伴う費用として約50百万円を計上（来期以降は発生せず）。

※EBITDA=税前利益+支払利息+社債利息+減価償却費

商品ジャンル別連結売上

(2022年12月期通期 業績予想の上方修正)

単位：百万円

商品ジャンル	2022/12 通期 当初計画	構成比	2022/12 通期 修正計画	構成比	増加額	増加率
コスメ（ピーリングフットケア）	1,602	27.6%	1,556	20.0%	△46	△2.9%
コスメ（その他）	1,397	24.1%	1,549	19.9%	+151	10.8%
トイレタリー	1,347	23.2%	1,066	13.7%	△280	△20.8%
機能衣料	588	10.1%	597	7.7%	+9	1.6%
Watch	319	5.5%	311	4.0%	△7	△2.4%
加工食品	38	0.7%	52	0.7%	+13	33.6%
浄水器・医療機器	—	—	1,101	14.1%	+1,101	—
生活雑貨	—	—	949	12.2%	+949	—
その他	660	11.4%	790	10.1%	+129	19.6%
新会計基準影響額	△154	△2.7%	△175	△2.3%	△20	13.4%
合計	5,800	100.0%	7,800	100.0%	+2,000	34.5%

ファミリー・サービス・エイコー(株)を子会社化したことにより新規ジャンルを追加。

業績予想の修正要因

(2022年12月期通期)

✓ファミリー・サービス・エイコー(株)の子会社化により、4月から12月の9か月の業績を加味いたしました。

【浄水器・医療機器】

【生活雑貨】

まぐ眠 ねむりのミカタ
(磁気治療器)

MAG DOCTOR
HEALTH & BEAUTY



ウォーターワーク
(浄水器)



オーラクリーンミニ
(歯ブラシの除菌装置)

ORAClean mini



1,101百万円

949百万円

0百万円

0百万円

2022/12
当初計画

2022/12
修正計画

2022/12
当初計画

2022/12
修正計画

業績予想の修正要因

(2022年12月期通期)

- ✓ コスメ（その他）はデンティスの販売好調が続くと予想、その他ジャンルは新取扱商品の販売好調を加味し、売上高増加を見込んでおります。
- ✓ 一方で、コスメ（ピーリングフットケア）は、米国での総代理店の在庫調整による影響を見込み、トイレタリーは、主力商品カビトルネードの伸長ペースの鈍化傾向を前提とし、慎重な予想にとどめております。

【コスメ（その他）】

+151百万円
1,397百万円 → 1,549百万円

2022/12
当初計画 2022/12
修正計画

【その他】

+129百万円
660百万円 → 790百万円

2022/12
当初計画 2022/12
修正計画

【コスメ（ピーリングフットケア）】

△46百万円
1,602百万円 → 1,556百万円

2022/12
当初計画 2022/12
修正計画

【トイレタリー】

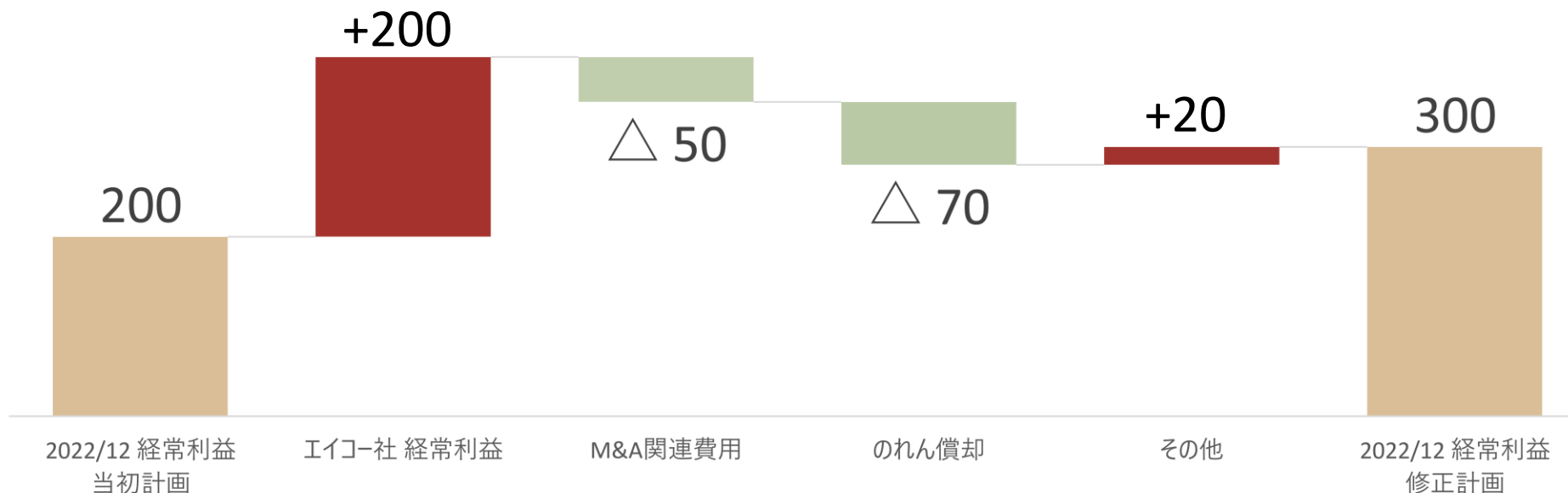
△280百万円
1,347百万円 → 1,066百万円

2022/12
当初計画 2022/12
修正計画

連結経常利益増減

(2022年12月期通期 業績予想の上方修正)

単位：百万円



- ✓ エイコー社子会社化に伴い同社の経常利益が加算
- ✓ エイコー社子会社化に伴うM&A関連費用の増加
- ✓ のれん償却費の増加
- ✓ その他費用の減少
- ✓ 経常利益は当初計画比+50.0%

+200百万円増加
 △50百万円減少
 △70百万円減少
 +20百万円増加
 +100百万円増加

株主還元

5

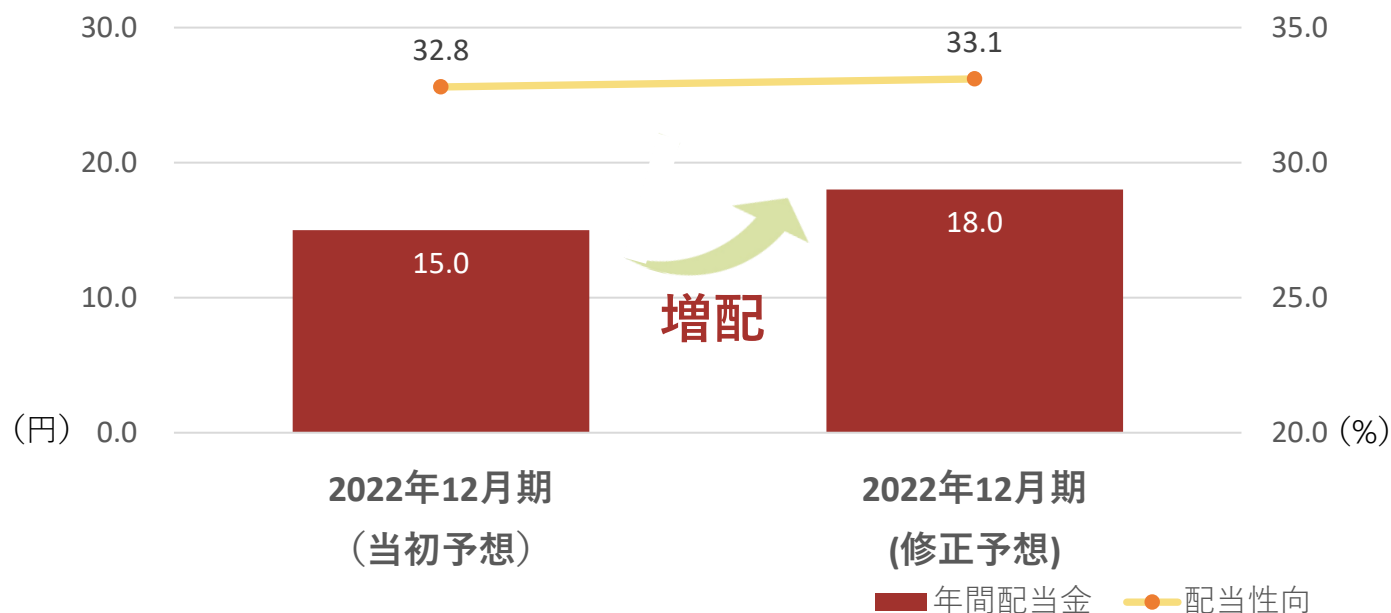
株主還元

株主還元

(配当政策)

✓ 2022年12月期の業績予想の修正をふまえ、1株当たり配当予想額を以下のとおり修正いたします。

	2022年12月期予想		増減
	当初予想	修正予想	当初予想比
配当金額	15円00銭	18円00銭	+3円00銭 増配
連結配当性向	32.8%	33.1%	—



※連結配当性向 = 配当支払総額 ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益

株主還元

(株主優待制度)

✓ 株主優待制度について

当社は、2021年12月末基準日より株主優待制度を開始いたしました。
株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社への投資魅力を高め、事業へのご理解を深めていただき、中長期的に株式を保有いただくことを目的としています。

毎年12月末日の基準日に3単元（300株）以上の株式を保有されている株主様を対象としております。対象の株主様へのご案内は基準日翌年の3月下旬以降とさせていただきます。



※その他ご注意事項が複数ございますので 詳細は当社ホームページをご確認ください。



本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記載が含まれています。これらは、当社が資料作成時点において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記載は、一定の前提および仮定に基づいており、また、当社の経営陣の判断または主観的な予想を含むものであり、国内外の経済状況の変化、市場環境の変化、社会情勢の変化、他社の動向等の様々なリスクおよび不確実性により、将来において不正確であることが判明しまたは将来において実現しないことがあります。したがって、当社の実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。

本資料に掲載のあらゆる情報は株式会社リベルタに帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ
IR窓口
03-5489-7661

